第 2 回 分析調整会議 議事要旨

日時　2024 年 10 月 2 日（水）10:00～11:45

場所　原子力損害賠償・廃炉等支援機構 会議室 C（Web 会議システム併設）

1. 1F 廃炉における分析の課題の対応状況

NDF から、1F 廃炉における分析の課題の対応状況について説明した。

2. 1F 廃炉における分析課題について

福島大学、東京電力 HD、NDF から、1F 廃炉における分析課題への取組状況について説明した。

委員からの主な意見は以下のとおり。

- 「廃炉・汚染水・処理水対策事業」に関する補助事業について、α核種、β核種で各々分析方法を開発することになるが、実際には雑多な核種が含まれた試料である。実用のことも考えて進めてほしい。また、現場の声を拾い上げて事業が進められるよう、マネジメントに力を入れて進めてほしい。
- 1F 分析体制構築に向けた取組状況について、ベテランの分析技術者から若手人材に対して技術を継承しやすい雰囲気づくりが重要。環境づくりやモチベーション維持について検討を続けてほしい。
- 固体廃棄物分析における技能試験を用いた信頼性確保について、技能試験用に作製する試料は将来的に、新規導入機器の校正、分析作業者の技能確認や技能向上、分析法の開発、新規参入者の確保等にも広く活用できるよう検討してほしい。

3. 燃料デブリ分析の評価検討作業会の設置及び第 1 回の議論概要について

NDF から、燃料デブリ分析の評価検討作業会の概要について説明した。

委員からの主な意見は以下のとおり。

- 議論テーマとして挙げられている「燃料デブリと燃料デブリ以外の見分け方・定義」は、今後データ取得を伴う長期課題であるため、議論を継続してほしい。
- 燃料デブリの模擬試料について、本 WG などを活用して議論を始められるとよい。

以　上